

## ニッセイAI関連株式ファンド

(年2回決算型・為替ヘッジあり)/(年2回決算型・為替ヘッジなし)

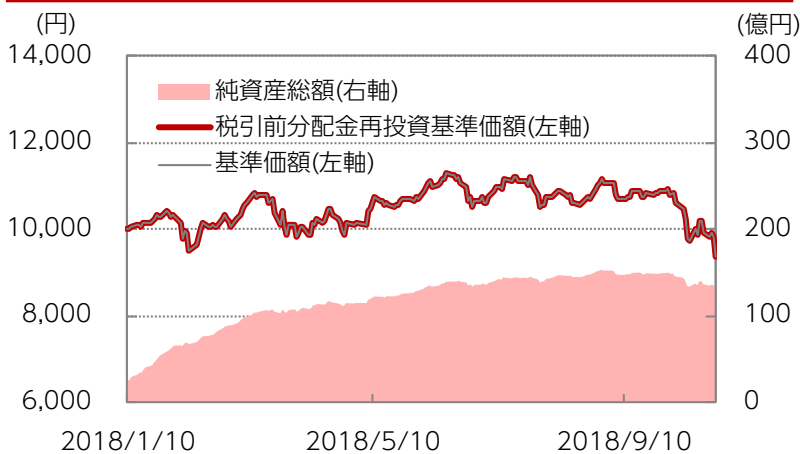
愛称：AI革命(年2・為替ヘッジあり)/(年2・為替ヘッジなし)

### 第2期決算と運用状況について

- 当ファンドは第2期決算を迎えましたが、収益分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して、「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」とともに分配の実施を見送らせていただきました。
- 『AI革命』は始まったばかり。AI関連企業の業績は大幅な拡大が見込まれており、中長期的な株価上昇が期待されます。

#### 年2回決算型・為替ヘッジあり

##### 基準価額・純資産の推移

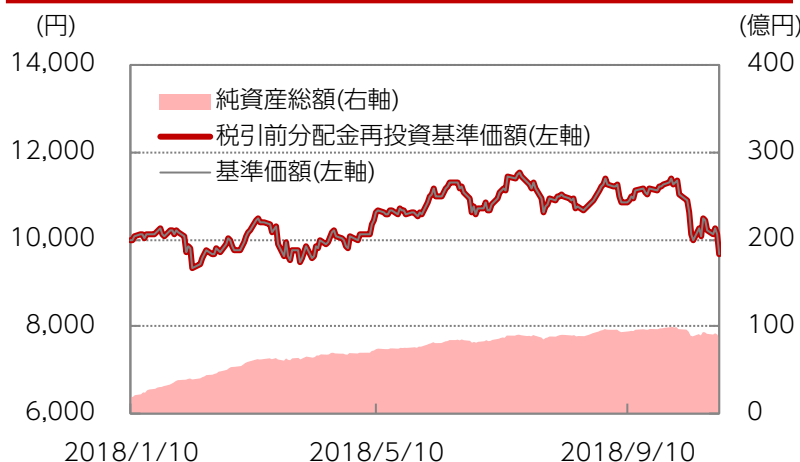


##### 分配の推移(1万口当り、税引前)

	決算	分配金	基準価額
第1期	2018年4月	0円	9,954円
第2期	2018年10月	0円	9,373円
第3期	2019年4月	—	—
第4期	2019年10月	—	—
設定来累計額		0円	

#### 年2回決算型・為替ヘッジなし

##### 基準価額・純資産の推移



##### 分配の推移(1万口当り、税引前)

	決算	分配金	基準価額
第1期	2018年4月	0円	9,869円
第2期	2018年10月	0円	9,681円
第3期	2019年4月	—	—
第4期	2019年10月	—	—
設定来累計額		0円	

データ期間：2018年1月10日<設定日>～2018年10月25日(日次)

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

## 主要投資対象ファンドのパフォーマンス

足元、値動きが大きな展開が続く株式市場ですが、AI関連銘柄の調査・分析に深い知見を有するTCWアセット・マネジメント・カンパニーが運用する当ファンドの主要投資対象ファンドの設定来のパフォーマンスは、世界株式インデックスを上回っています。

### 主要投資対象ファンドのパフォーマンス(円ベース)



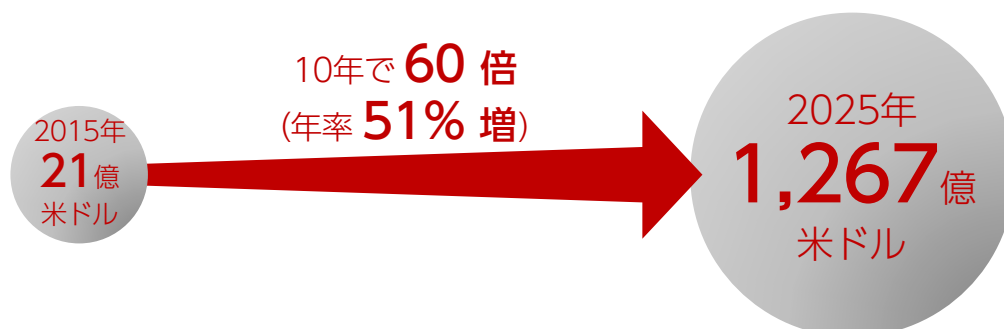
出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 データ期間：2016年11月29日～2018年10月24日(日次) 世界株式インデックス：MSCI AC World インデックス  
 上記はAI革命(年2・為替ヘッジなし)の主要投資対象であるTCWファンズⅡーTCWグローバルAI株式ファンド(ノンヘッジクラス)のパフォーマンスを示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてお考えください。

## 『AI革命』は社会や産業構造を大きく変える

歴史を振り返ると、技術革新により社会や産業構造が大きく変化を遂げる局面が過去に何度かみられました。AIの進化は既存の産業構造や私たちの日常生活を大きく変える可能性を秘めており、『AI革命』と呼んでも過言ではないと我々は考えています。

AI革命は今始まったばかり。世界のAI関連市場規模は、2015年からの10年で約60倍に成長すると予想されており、関連銘柄の業績拡大が期待されます。

### 世界のAI関連市場規模予想

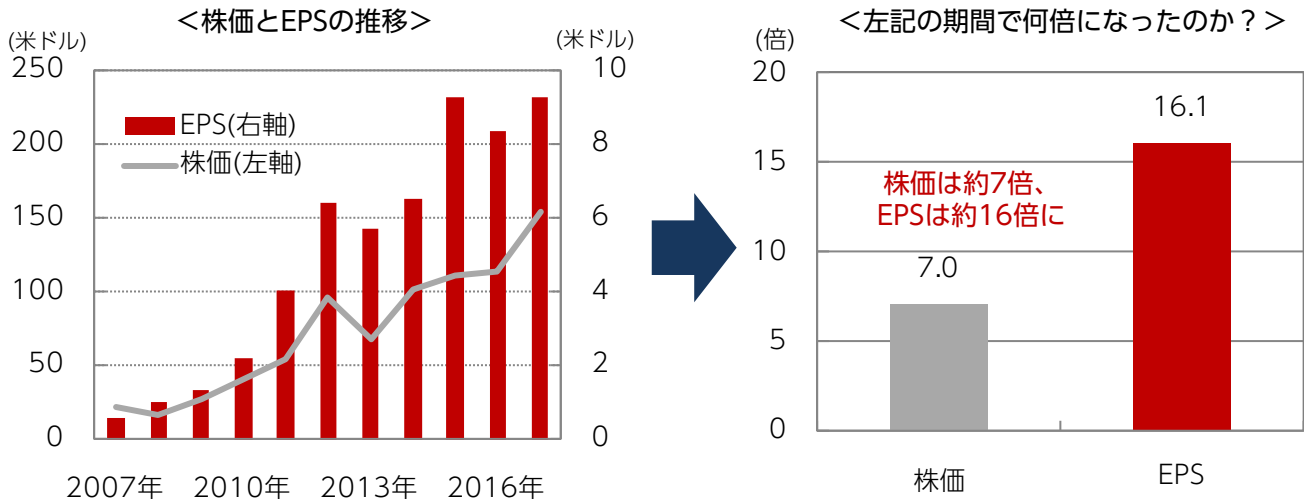


出所)バンクオブアメリカ・メリルリンチのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

## 株価に割高感はみられない

株価が上昇しても、企業業績の拡大によるものであれば、割高になったとは一般に言いません。例えば、iPhone等の革新的な製品を開発してきた米国アップルの株価はこの10年で約7倍に上昇しましたが、EPS(1株当たり利益)は約16倍に拡大しています。このようなケースでは、割高になったとは言いません。

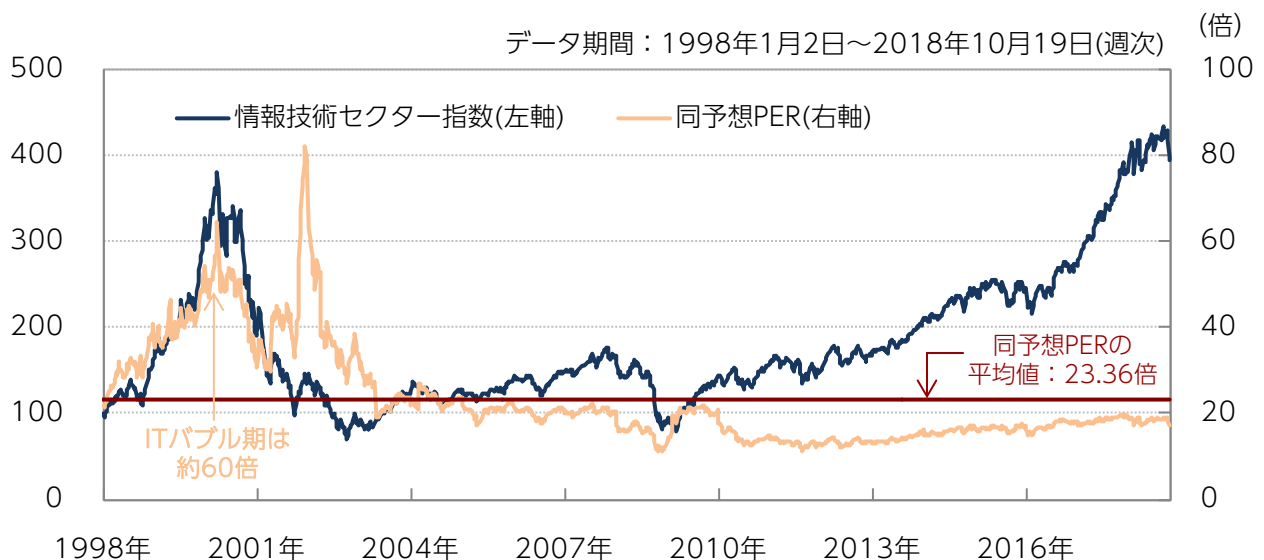
### アップルの株価とEPS ～10年間で何倍になったのか？～



出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 データ期間：株価は2007年9月末～2017年9月末(年次)、EPSは2007年9月期～2017年9月期(年次)  
 上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

この10月にもNYダウが高値を更新するなど、世界的に株価は上昇してきましたが、代表的なバリュエーション指標であるPER(株価収益率)を確認すると、AI関連企業が多数含まれる情報技術セクターの足元の水準は、過去約20年間の平均値を下回っており、割高感はありません。

### 情報技術セクター 指数と予想PERの推移



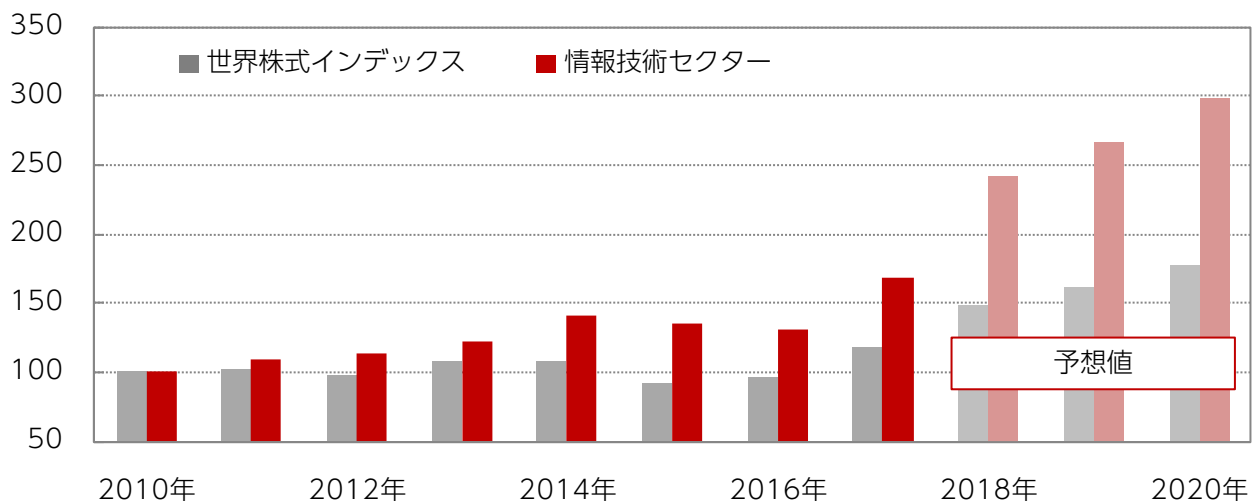
出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 情報技術セクター指数：MSCI AC World インデックス・情報技術セクター 1998年1月2日を100として指数化(米ドルベース)  
 平均値は1998年1月2日～2018年10月19日(週次)の平均

## 企業業績は今後も拡大、株価の上昇が期待される

世界的に企業業績は拡大が見込まれていますが、AI関連企業が多数含まれる情報技術セクターは特に大幅な伸びが期待されており、中長期的にはさらなる株価の上昇が期待されます。

当ファンドでは、TCWアセット・マネジメント・カンパニーが徹底した調査・分析にもとづき投資銘柄を厳選、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行ってまいりますので、引き続きご愛顧たまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

### EPSの推移



出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 世界株式インデックス：MSCI AC World インデックス、情報技術セクター：MSCI AC World インデックス・情報技術セクター  
 EPSの2018年以降は予想値(2018年10月現在のブルームバーグ集計値)、2010年を100として指数化(米ドルベース)

QRコードでアクセスいただくと、「AI革命」の動画をご覧ください！

『AIの進化がもたらす可能性を信じるなら AI革命』

動画にはTCWの運用担当者のコメントもあるので、是非ご覧ください。



## ファンドの特色

- ①日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI(人工知能)関連企業の株式に投資を行います。
- ②株式の運用は、TCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。
- ③「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドから選択いただけます。
- ④年2回(毎年4・10月の各25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金をお支払いすることをめざします。  
※将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。

## 投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

### 基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**

### 主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	<p>〈為替ヘッジあり〉</p> <p>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができないとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。</p> <p>〈為替ヘッジなし〉</p> <p>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。</p>
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

## ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.24%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※ 料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.269%(税抜1.175%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。	
		投資対象とする 外国投資信託証券	年率0.6%程度
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に <b>年率1.869%(税込)程度</b> をかけた額となります。	
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.0108%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

- ❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
- ❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます) ホームページ： <a href="https://www.nam.co.jp/">https://www.nam.co.jp/</a>
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	

